



JAの総合事業を否定したり、准組合員の事業利用を制限するなど、農協解体ともいえる政府が求める「農協改革」に対し、私たちJA鹿本は、「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」を目指して自己改革に取り組んでいます。
今回は鹿北地区の取り組みを紹介します。

地域に寄り添う店舗づくり



4月27日に「Aマート鹿北店」を、山崎製パン株式会社との業務提携で「ニューデリースタアかほく店」に業態変換しました。ロードサイド(路面店)での業態変換は全国初。生活店舗とコンビニの機能を融合させた店舗で、山崎グループのパンや和菓子等の販売のほか、Aコープマーク商品、JA鹿本独自商品の販売を行っています。地域に寄り添う店舗づくりを行っています。



農産物やお茶、Aコープマーク商品も販売

営農センターで展示会を開催



営農センターでは年に2回展示会を開催しています。7月と2月に開催していて、農機具や車・軽トラ、電化製品などの販売も行っています。
その他、ニューデリースタアかほく店が月1回大売り出しをするのに合わせて農機具等の展示会も開催しています。



地区だよりで地域の情報を発信



鹿北地区では地区で行われるイベントや同志会・女性部の積極的な活動を紹介する地区だより「かほく」を定期的に発行しています。第3土曜日のふれあいデーに本誌「かもと」と一緒にお届けしています。

同志会、女性部活動で更に地域を元気に!

同志会では小学生と稲作りをし、食農活動に取り組んでいます。女性部は部員で毎月様々な活動を行っています。中でも毎月1回助け合いの会「ふれあいホーム」を開催しています。平成11年から行われていて、鹿北地区のお年寄りに参加を募り、女性部員が協力会員として様々なイベントを実施しています。



同志会で小学生と稲作り

役員と語る会で意見交換を実施

組合員、地域住民を対象に「JA役員と語る会」を行っています。JAに対する意見や要望・提案を活発に出し、地域の活性化に繋がっています。



女性部の活動

年に2回の美化運動

年に2回、鹿北地区出身職員で地区の美化活動に取り組んでいます。



JA鹿本は各事業を通じ、創造的自己改革の実現に向けて取り組みます! 次月号に続く▶▶▶